

軍極秘

高警隊機密第八号  
自昭和十八年四月一日  
至昭和十八年四月三十日

# 高雄警衛隊戰時日誌

高雄警衛隊

6/6

九月

18.10.13  
接受

一	経	目
二	人員ノ現状	過次
三	處理事項概要	
四	作戰協力	
五	令達報告等	
六	参考	
	諸調査事項	
	戦訓	
	寫真	

(目次終)

## 一 経 過

- (一) 四月一日 高雄ニ敬言備府新設セラル
- (二) 昭和十八年四月一日内令第五百三十六號ヲ以テ海軍敬言備隊ノ所屬名稱及所在地ヲ左ノ通改正セラル
- 高雄敬言備府一 高雄海軍敬言備隊一 高雄要港
- (三) 同日内令第五百四十九號ヲ以テ高雄敬言備府附トレテ准士官以上ニ名年士官兵五十九名増員セラル
- (四) 同日内令第六百十三號ヲ以テ高雄海軍敬言備隊ニ當分ノ間定員ヲ置キズ
- (五) 高雄敬言備府所屬 高雄海軍敬言備隊 高雄要港ニ設置豫定ノ處當分ノ間定員ヲ置キズ高雄敬言備府附トレテ内令第五百四十九號ヲ以テ増員セラレ高雄敬言備隊ヲ編

戒厳事務ヲ開始ス

(六) 機密高敬言府第三六號ニ依リ海軍大佐本田甚次郎(高雄) 通信隊司令兼高雄敬言備府附) 高雄敬言衛隊指揮官ヲ命ゼラル

四月一日着任

(七) 四月三日海軍中尉北村富平(高雄敬言備府附) 高雄敬言衛隊 勤務トシテ着任(高雄要港衛兵司令) 兼分隊長職務執行

ヲ命ゼラル

(八) 任務

高雄敬言備府新設セラレ高雄要港境域、敬言監視茲ニ高雄 敬言備府直接警衛及對空敬言防空通信高雄敬言備府 法令第一一號ニ據ル高雄海軍病院入院中ノ戰傷ノ病 死者ニ對スル取扱業務、仮入隊者收容転出ニ從事ス

人員、現狀

(一) 職員官氏名

職	(高雄) 高雄通信隊司令	官	氏	名	記
	兼(高雄) 高雄警衛隊指揮官	海軍大佐	本	田 甚次郎	四月一日着任
兼	(高雄) 高雄警衛隊司令	海軍中尉	北	村 富平	四月着任
	分隊長職務執行				

(二) 下士官兵其他ノ員数

種別	下士官	兵	雇員	傭人	合	計
員数	一	一七	。	。	一	八
記事	転入	四月一日兵	一七	四月三日	下士官	一

三 處理事項ノ概要

(一) 一日ヨリ 高雄警言備府附(高雄海軍通信隊勤務中)ノ  
 整備兵十七名ヲ以テ警言備府構内ノ直接警言衛 及  
 防空通信任務ニ從事ス

四 作戦協力

日	曜	天候	協力事項
一	木	曇	高雄敬言備府麾下第二警戒配備
四	日	晴	二二二五高雄敬言備府麾下警戒戒嚴報解令
九	金	晴	一六一五高雄敬言備府麾下警戒戒嚴報解除
一四	水	晴	二三三五台灣全島地区警戒戒嚴報發令
一六	金	晴	〇六五五台灣全島地区警戒戒嚴報解除
二五	日	晴	二三四五台灣全島地区警戒戒嚴報發令 二三四五高雄敬言備府麾下警戒戒嚴報發令
二六	月	晴	二〇八二台灣全島地区警戒戒嚴報解除 二〇八二高雄敬言備府麾下警戒戒嚴報解除
二七	火	晴	一一〇〇高雄敬言備府麾下警戒戒嚴報發令
三〇	金	晴	一一〇〇高雄敬言備府麾下警戒戒嚴報解除

五令達報告等

發日時

受日時

令達報告等

種別

高雄警備司令長官

警備隊指揮官

機密高雄警備司令第三六號海軍大佐木田甚次郎  
高雄通信隊司令兼警備隊指揮官

文書

二日〇八 高警言府司令長官	三日〇九 高警言府司令長官	四日二二 高警言府司令長官	九日一六 高警言府司令長官	二五日二四 高警言府司令長官	二六日〇八 高警言府司令長官	二六日一〇 高警言府司令長官	二六日二二 高警言府司令長官
高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官
高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官
高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官
高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官
高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官	高警言府司令長官

六 矢多 考

(一) 諸調查事項

(二) 戰訓

(三) 真

ナシ

終

軍極秘

高雄警隊機密第八号

三

自昭和十八年五月一日  
至昭和十八年五月三十一日

# 高雄警隊戰時日誌

高雄警隊

6/6

九月二十日

陸軍史料部  
18.10.13  
接受



目次

一 経過

二 人員ノ現状

三 處理事項ノ概要

四 作戰協力

五 令達報告等

六 參考

諸調査事項

戰訓

寫真

(目次終)

一 経過

(一) 高雄要港境域、警戒監視並ニ高雄敬言備府、直接敬言衛  
 及對空警戒戒防空通信高雄敬言備府法令第二一號ニ依ル  
 高雄海軍病院入院中、戦傷病死者ニ對スル取扱業務  
 及入隊者、収容転出ニ從事ス

(二) 十六日海軍少尉市山義雄(高雄敬言備府附)高雄  
 敬言衛隊勤務トシテ着任(高雄要港衛兵副司令)兼  
 分隊長ヲ命ゼラル

(三) 十六日下士官兵三十名入隊

(四) 新設ニ伴フ兵器需品、受入整備ニ從事

ニ人 職員ノ現状

(一) 職員官氏名

職	官	氏	名	記	事
---	---	---	---	---	---

(高雄海軍通言隊司令) 兼高雄警備隊指揮官	海軍大佐	本田甚次郎	
(高雄要港衛兵司令) 兼分隊長職務執行	海軍中尉	北村富平	
(高雄要港衛兵副司令) 兼分隊長	海軍少尉	市山義雄	五月十六日着任

(二) 下士官兵其他人員數

種別	下士官	兵	雇員	傭人	合計
員數	六	四四	〇	〇	五〇
記事	転入 五月十二日 下士官一兵二 五月十六日 下士官五兵二五				転出 五月九日 主曹長一

三 處理事項ノ概要

- (一) 十七日 高警司令 部ヨリ 對空戰鬥用 九三式 十挺機銃 及 惠式 二十挺機銃ヲ 受領ス
  - (二) 二十八日 特設見張所 (丁) 胡内庄 竣工ニ付 受領兵 二名ヲ 守兵トシテ 派遣シ 保安警戒ハ 任ニ當ラシム
- 四 作戰協力

日	曜	天候	協力	事項	種別
一〇	月	晴	一四四五	高雄敬言備府管区警戒警戒報弁令	
一一	火	晴	一六〇〇	高雄敬言備府管区警戒警戒報解除	
一二	水	晴	二二三五	高雄敬言備府管区警戒警戒報弁令	
一五	土	晴	二六四〇	高雄敬言備府管区警戒警戒報解除	
五、令達 報告等					
五日	發	九時	受	死通報	令達 報告 事項
七日	高敬言府司令長官		麻毛下一般	六日。八。以後高雄敬言備府管区警戒警戒報弁令	種別
十日	高敬言府司令長官		高敬言部隊	一九三。第四警戒警戒報弁令	電話
十一日	高敬言府司令長官		高敬言備府管区警戒警戒報解除		
十二日	高敬言府司令長官		高雄敬言備府管区警戒警戒報弁令		
十五日	高敬言府司令長官		高雄敬言備府管区警戒警戒報解除		

(三) 易  
 (二) 戰  
 (一) 諸  
 六 參  
 考  
 調 査 事 項  
 真 訓 項

ナ  
 シ

(終)

軍極秘

高雄警衛隊機密第八号  
自昭和十八年六月一日  
至昭和十八年六月三十日

# 高雄警衛隊戰時日誌

高雄警衛隊

6/2

九月三十一日提出

海軍省資料部  
18.10.13  
授受

目次

- 一 経過
- 二 人員の現状
- 三 處理事項の概要
- 四 令達報告等
- 五 參考

諸調査事項  
戰訓  
寫真

(目次終)

一 経 過

(一) 高雄要港境域、敬言戒監視並ニ敬言備府直接敬言衛及對空警戒防空通信高雄敬言備府法令第二一號ニ據ル  
 高雄海軍病院入院中、戦傷病死者ニ對スル取扱業務  
 後入隊者收容転出ニ從事ス

(二) 十七日下士官兵二十六名入隊

(三) 民防堂指導ニ從事ス

二 人員、現状

(一) 職員官氏名

職	官	氏 名	記 事
(高雄海軍通信隊司令) 兼高雄敬言衛隊指揮官	海軍大佐	本田 甚次郎	
(高雄要港衛兵司令) 兼分隊長職務執行	海軍大尉	北村 富平	六月一日進級
(高雄要港衛兵副司令) 兼分隊長	海軍少尉	市山 義雄	



(二) 下士官兵其他ノ員數

記	事	種別	下士官	兵	雇員	傭人	合計
		員數	一〇	四九	〇	〇	五九
転入 六月十七日		兵 下士官 四					
転出 六月十九日		兵 一七					

三、處理事項ノ概要

(一) 一日故海軍二等兵曹 石田次敏 高雄海軍病院ニ入院中  
 戰病死ニ就キ火葬中、上遺骨遺品 高雄海軍武官府

ニ移牒ス

(二) 十七日 民防空指導員 為 本田大佐 市山少尉 下士官兵  
 八名 岡山 楠梓 橋子頭 左營ニ派遣

(三) 十九日故海軍二等兵曹 内田一民 高雄海軍病院ニ入院中  
 戰病死ニ就キ火葬中、上遺骨遺品 高雄海軍武官府  
 ニ移牒

(四) 二十日特設見張所(丁)鳳山竹脚厩竣工ニ付キ受領兵  
 二名宛ヲ守兵トシテ派遣保安警戒ニ任セ當ラシム

四 令達報告等

發 日時	受 日時 (通報)	令達報告事項	文書
一日 高敬言司令部	部内一般	鳳山本元帥國華司令部艦船部隊進學校 ニ於テハ訓話其他適宜ノ行事ヲ安行 セシメラル様取計ハレ度尚當日關係 行事外日課ハ平常通ニ付為念	文書

五 公令考

- (一) 諸調査事項
- (二) 戰訓
- (三) 寫真

ナシ

(終)

0285

# 高雄敬言衛隊戰時日誌

高雄警衛隊

實錄

高雄警隊機密第八号  
自昭和十八年七月一日  
至昭和十八年七月五日

1/6

九月三日提出

18.10.13  
接覽

目次

一、 経過

二、 人員の現状

三、 處理事項概要

四、 作戦協力

五、 令達報告等

六、 参考

諸調査事項

戦訓

寫真

(目次終)

一 經過

(一) 高雄要港境域，敬言戒監視茲之敬言備府，直接警衛及對空警戒，防空通信，高雄敬言備府法令第二一號，依止高，雄海軍病院入院中，戰傷病死者，對之取扱業務，倭入隊者，收容轉出，從事。

(二) 民防空指道，從事。

二 人員，現狀

(一) 職員官氏名

職	官	氏名	記事
高雄海軍通信隊司令	海軍大佐	本田甚次郎	
高雄警衛隊指揮官	海軍大尉	北村富平	
高雄要港警衛隊司令	海軍少尉	市山義雄	
高雄要港警衛隊副司令			
高雄分隊長職務執行			
高雄分隊士			

(二) 下士官兵其他ノ員數

種別	下士官	兵	雇員	傭人	合計
員数	一六	五〇	〇	〇	六六
記事	転入 七月二十七日 下士官四 七月三十日 下士官一 転出 七月二十七日 兵四				

三 處理事項ノ概要

- (一) 一日海軍工員沖田富義高雄海軍病院ニ入院中戰病死ニ就キ火葬、上遺骨遺品高雄海軍武官府ニ移牒
- (二) 五日民防空指導、夕、市山少尉外下士官兵八名岡山地区ニ派遣
- (三) 十一日故海軍筆生関口崇子高雄海軍病院ニ入院中戰病死ニ就キ火葬、上遺骨遺品高雄海軍武官府ニ移牒ス
- (四) 十三日舞鶴海兵團行キ上曹布村喜藏上曹山城金之助横須賀海軍通信學校行キ曹小西忠守役入隊セリム
- 十六日右三名復隊ニ付退隊セリム

(五) 二十六日指揮官本田大佐、命令ニ依リ九三式十三耗機銃  
 試射ヲナス(発射彈數 六〇發)

(六) 二十九日故海軍工員劉木柱高雄海軍病院ニ入院中一病死  
 二付火葬トシ遺骨遺品高雄海軍武官府ニ移牒ス

四、海軍戰協働

日 曜 天候 協 力 事 項

- 一四 水 晴 〇 〇 高雄警備府管区第三警戒配備トナセ
- 一七 土 晴 〇 八四 高雄警備府管区第四警戒配備トナセ
- 二〇 金 晴 一〇〇〇 高雄警備府管区第三警戒配備トナセ

五、令達報告等

發 日 時	受 宛 日 時	令 達 報 告 事 項	種 別
三〇日 高警言府司令長官	九時 麾下一般	〇八〇〇ヨリ第三警戒配備トナセ	
一七日 高警言府司令長官	公	〇八四五ヨリ第四警戒配備トナセ	電話

三〇日 高警管府司会長室	麾下一般	一〇〇〇ヨリ 第三警戒配備トヤ
-----------------	------	--------------------

六 矢多 考

一 諸調査事項

二 戦訓

三 寡真

ナシ

(終)



極秘

高雄警隊機密第八號六  
自昭和十八年八月一日  
至八月三十一日

高雄敬言衛隊戰時日記

高雄警言衛隊

6/6

十月三日提出



- 目次
- 一 作戰經過、概要
  - 二 人員、現狀
  - 三 令達報告等
  - 四 參考
- (一) 兵員補充狀況  
 (二) 臨時派遣員狀況  
 (三) 戰訓  
 (四) 寫真

(目次終)

		日		一作戦経過概要 昭和十八年八月 高雄敬言衛隊
三	二	一	氣象 天候 氣溫 視界 正午	
晴	晴 三一〇 五〇	晴 三〇 五〇	任務 高 高 高	
			経過摘要 一 大山岡山特設見張所(兵装衣 工事)着工中 二 前月引續キ庁舎屋上 見張所(直下土)三直ヲ 配シ対応警戒ニ從事セシム 三 前月引續キ防衛指揮所 (直下土)三直ヲ配シ防衛 通信ニ從事セシム 四 前月引續キ胡内庄竹脚厩 鳳山特設見張所ニ警戒兵 (名ヲ配シ警戒ニ從事セシム 五〇八三)以後第四警戒配備	
			記 一 官庁機密第三八四ノ二ニ 依リ防毒用マスク六十四 個設定	事



0295

一五	一四	一三	一二	一一	一〇
南	二 三 〇 〇	二 八 〇 〇	二 三 〇 〇	五 二 九 二	二 八 〇 四
府					備
府					備
防					港
<p>一〇〇〇以後第三敬言配 備</p>					
<p>官房繼機原第四三二 二子二依り左記見張用双 眼鏡設定 一十三種双眼鏡壹 一八種双眼鏡壹 三七倍後眼鏡五 四刺</p>					

0296

二	二	九	八	七	六	
五 三 〇 〇	二 七 〇 〇	二 三 一 〇	二 三 〇 〇	二 三 一 〇	二 三 〇 〇	二 五 〇 〇
晴	雨	薄曇	曇	薄曇	曇	
雄			高			
防陸			上及		陸空	
						七〇〇以後 警備四 敬言戒
		海上軍兵 病院長 雄海軍 武官 存二 移				

二八	二七	二六	二五	二四	二三	三三
決 晴	五三晴 二二	二二曇 一九	二三曇 二一	二三薄曇 二一	二三薄曇 二一	二三晴 二二
	衛					警
	部					備
	防					上

三 一	三 〇	三 九	
五三薄 〇〇曇	五三快 〇〇晴	五三快 〇〇晴	五三 二〇
隊			
隊 備			
		昭 和十八年四月一日馬 高敬言ニ改メラレ本 旗後及寺山火薬庫ニ 采由兵々口ニ名死ヲ 戒ノ任ニ當ラシム	内令第五三三号依リ



附表  
防備要圖

竹脚層  
特設見張所(丁)

兵力配備  
准士官以上(一)未配備  
下士官(六)未配備  
又二配員中  
施設  
空中聽音器一基  
百子探照燈一基

大山田山  
特設見張所(丙)

兵力配備  
准士官以上(一)未配備  
下士官(六)未配備  
又二配員中  
施設  
電波探信機一基

胡町庄  
特設見張所(丁)

△

△

△

兵力配備  
竹脚層  
施設  
三同

兵力配備  
施設  
竹脚層  
三同

鳳山  
特設見張所(丁)

高警言府  
防備指揮所  
五五五

兵力配備  
施設  
竹脚層  
三同

琉球嶼  
特設見張所(丁)

防備方針茲ニ要領

一竹脚厩・胡内庄・鳳山・琉球嶼ノ各特設見張ノ對空見

張及空中聽音茲ニ大崗山ノ電波探信儀ヲ全幅活用シ

敵機ノ早期発見ニ努メ遺憾ナカラシム

二人員ノ現状

(一)職員官氏名

職	主務	官	氏名	記事
兼高雄海軍通信隊司令 兼高雄警衛隊指揮官	全般	大佐	本田甚次郎	四月一日着任
(高雄要港警衛兵司令) 兼分隊長職務執行	防空通信	大尉	北村富平	四月三日着任
兼分隊長 兼分隊士	見張及射撃 指揮官	少尉	市山義雄	四月十六日着任

(二)下士官兵其他ノ員數

種別	兵種	兵科	飛行科	教養科	機関科	工作科	軍樂科	医務科	主計科	其他	計
定員	六二								三	三	六八
役入隊	一										一
其他											

三令達報告等

元日	受	令達報告事項	種別
七月三〇日 高警署司令長官	摩	下	
一〇日 高警署司令長官	会	一〇日ヨリ第三警戒配備トナセ	
一四日 高警署司令長官	会	一〇日ヨリ第三警戒配備トナセ	電
一五日 高警署司令長官	会	一七〇〇以後第四警戒配備トナセ	話

四 突考

- (一) 兵員補充状況
- (二) 臨時派遣員状況
- (三) 戦訓
- (四) 寫真

該當事項ナシ

(終)